

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	薬事衛生課
職	課長
氏名	紺野 欽一

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
食品と医薬品の安全・安心の確保を図る。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
①食品の製造・加工、流通・販売施設での衛生管理などの監視・指導を強化し、食の安全・安心の確保対策を推進する。 ②医薬品の有効性、安全性を確保し、医薬品の適正使用の啓発及びジェネリック(後発)医薬品の使用促進を行う。 ③危険ドラッグの販売や使用を規制し、早期の流通制限は図るとともに県民への普及・啓発により、健康被害の発生や重大な事故を予防する。 ④高齢者のニーズに対応したサービス基盤の整備						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①	食中毒発生件数(金沢市を除く)	11 件	H27 年度	8 件	H28 年度	H18～H27の10年間の食中毒発生件数の平均(50%値)
②	ジェネリック医薬品使用割合	57.8 %	H27 年度	70 %	H29 年度	厚生労働省の目標値(最終目標値:80%(H30～32))
③	危険ドラッグに係る検挙人員	4 人	H27 年	0 人	H28 年	
④	研修参加者数	—	H27 年度	100 人	H28 年度	認知症対応力向上研修2回×50人



28年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
③危険ドラッグ対策の推進	危険ドラッグと認められる商品又はその疑いのある商品について、条例により「知事指定薬物」等に指定し、販売や使用を規制し、その流通を制限する。県民に対して危険ドラッグの乱用防止について普及啓発を行う。
④認知症高齢者の対応	認知症の早期発見や服薬指導に必要な知識に関する研修の実施